

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

病害虫防除技術情報（第 4 号）の送付について

このことについて、下記のとおりお知らせしますので、御参照の上、防除指導方よろしくお願
いします。

記

情報の内容 果樹カメムシ類のトラップ誘殺数の増加について
対象作物 もも、キウイフルーツ、なし、すもも、かき、かんきつ等

1 発生状況

- (1) 令和 4 年 5 月 31 日に病害虫発生予察注意報（第 2 号）を発出したものの、6 月中旬以降、
県内全地点の集合フェロモントラップ及び予察灯での誘殺数が平年を大きく上回っている
（図 1、2）。
- (2) キウイフルーツ、なし、かき等の落葉果樹では、被害果が認められている（写真 1、2）。
- (3) 1 か月予報（令和 4 年 6 月 30 日発表）では、気温は高いとされており、成虫の飛来は活発
になるとみられる。

2 防除上の注意

- (1) 病害虫発生予察注意報（第 2 号）を参照する。
- (2) 7 月下旬頃までは越冬成虫が飛来の主体であり、8 月以降は新成虫となるため、7 月下旬
までは多発傾向が予想され、特に注意が必要である。
- (3) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。
- (4) 園地で飛来を確認した場合には、各地域の防除暦に従い、ただちに薬剤防除を行う。
なお、園地での飛来確認は、日中は難しいため、夕方（特に日没直後が確認しやすい）に行
う。

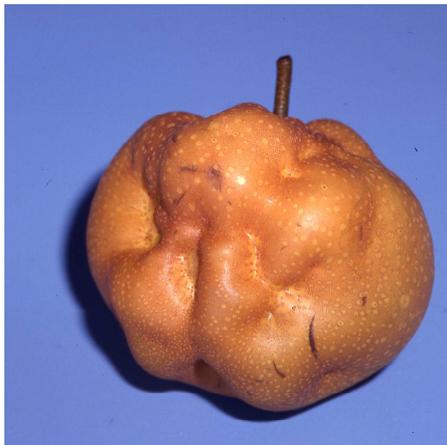


写真1 ナシ被害果実



写真2 キウイフルーツ被害果実

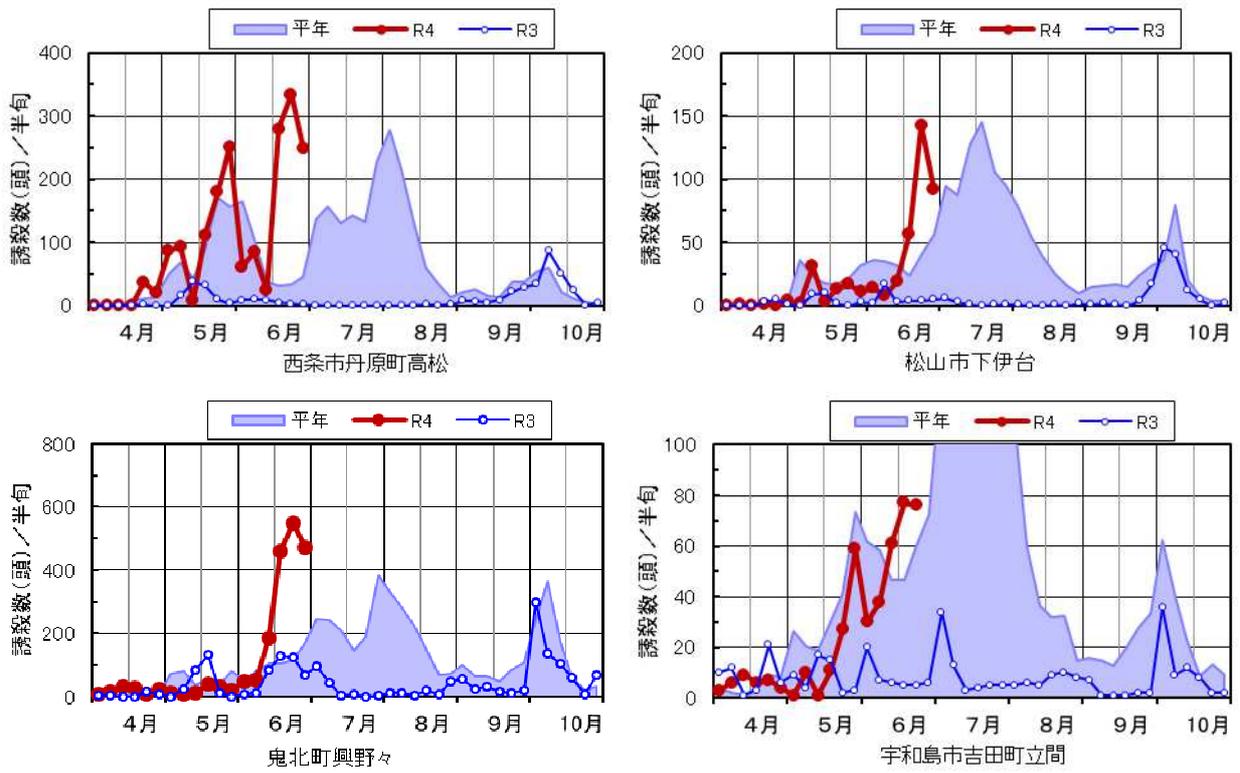


図1 集合フェロモントラップによる誘殺数

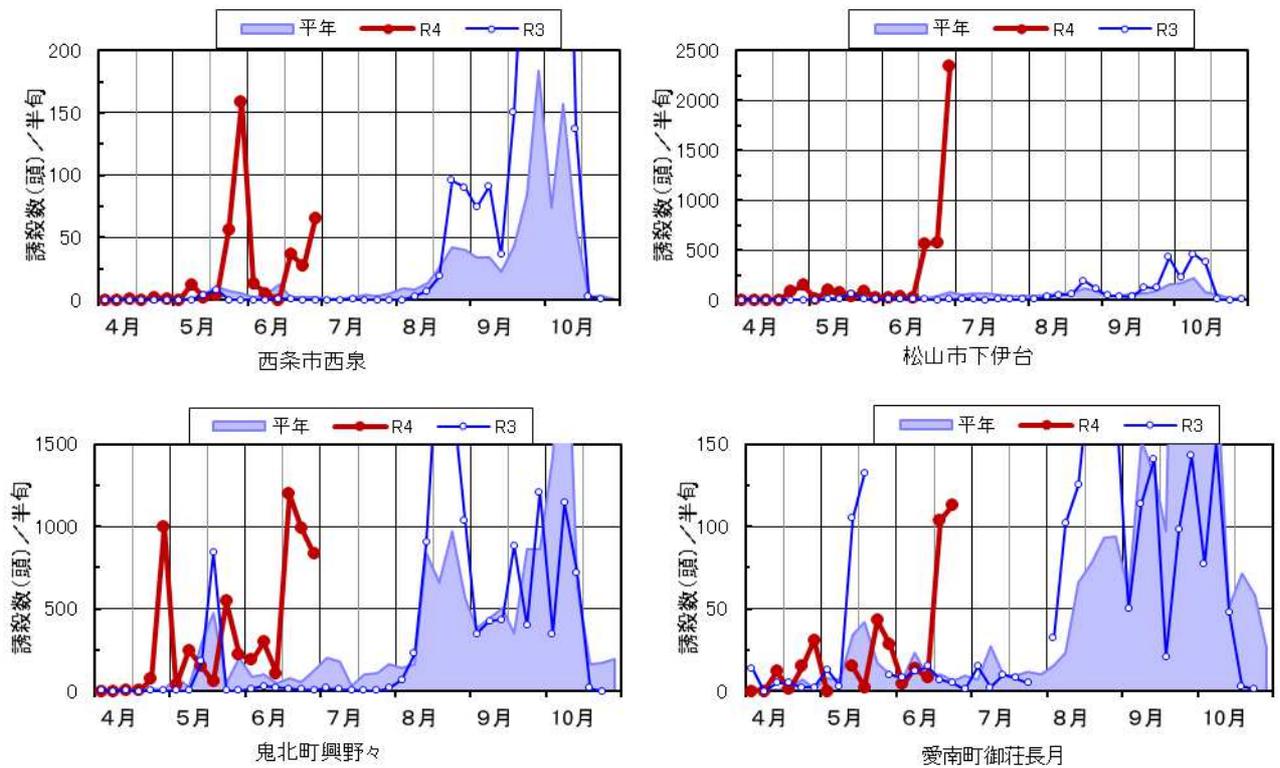


図2 予察灯における誘殺数